

第3 一般課題対応区域の届出の要否について

1 建築物の届出について（新築以外のケース）

(1) 建築物の増築、改築若しくは移転（以下「増築等」という。）の届出について

凡例

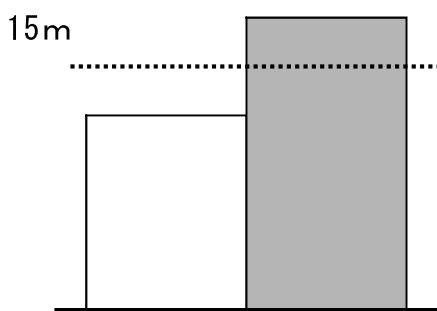
□ : 既存建築物

■ : 増築等

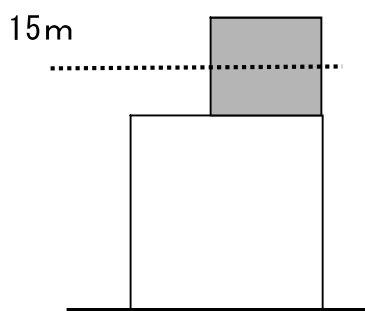
ア 高さに関して（一般課題対応区域：届出が必要な高さ 15m超）

(ア) 届出が必要なケース

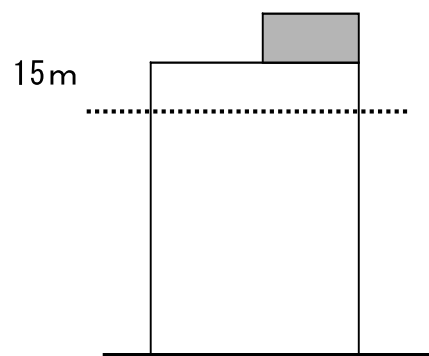
〈ケース1〉



〈ケース2〉



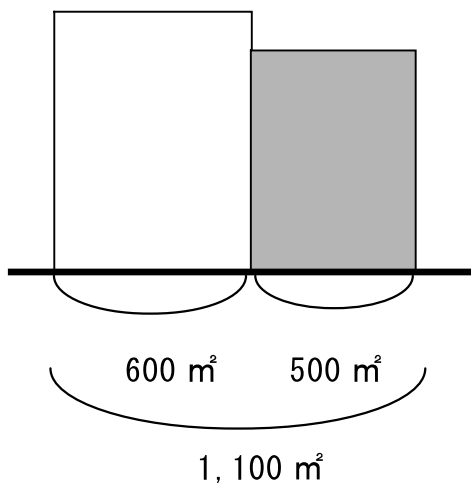
〈ケース3〉



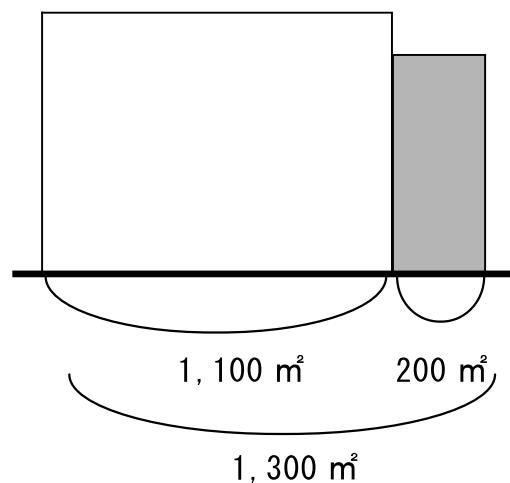
イ 建築面積に関して（一般課題対応区域：届出が必要な建築面積 1,000 m²超）

(イ) 届出が必要なケース

〈ケース1〉



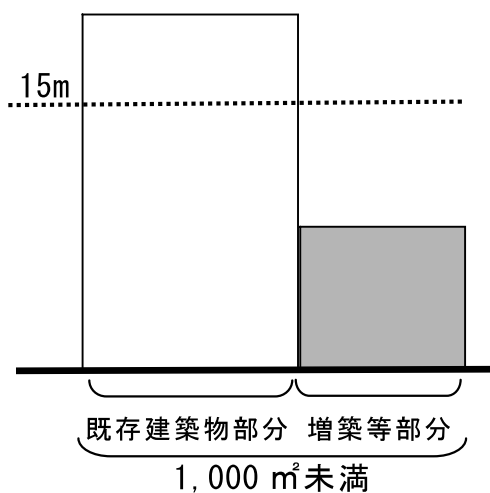
〈ケース2〉



ウ 高さ及び建築面積に関して（一般課題対応区域：届出が必要な高さ又は建築面積 15m 超又は建築面積 1,000 m²超）

(7) 届出が必要なケース

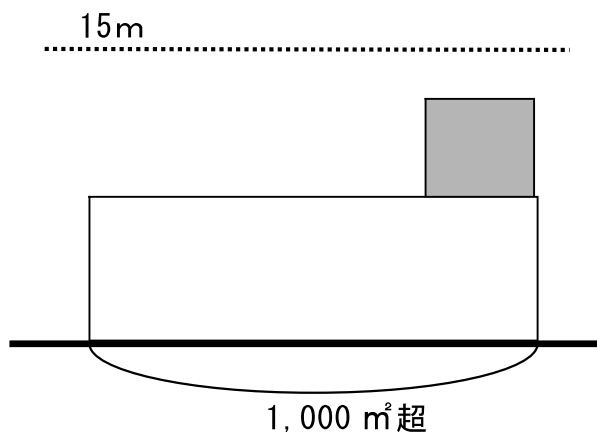
〈ケース 1〉



〔 既存建築物部分の高さが 15m 超で、増築部分の高さが 15m 以下、そして既存建築物及び増築部分の建築面積の合計が 1,000 m²未満の場合 〕

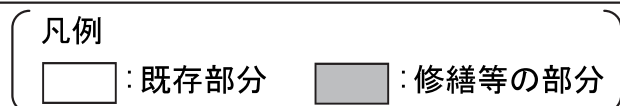
※ 適用除外＝増築部分の建築面積が 10 m²以下の場合

〈ケース 2〉



〔 既存建築物部分の建築面積が 1,000 m²超で、既存建築物の上に増築するが、地盤面から増築部分の上端までの高さが 15m 以下の場合 〕

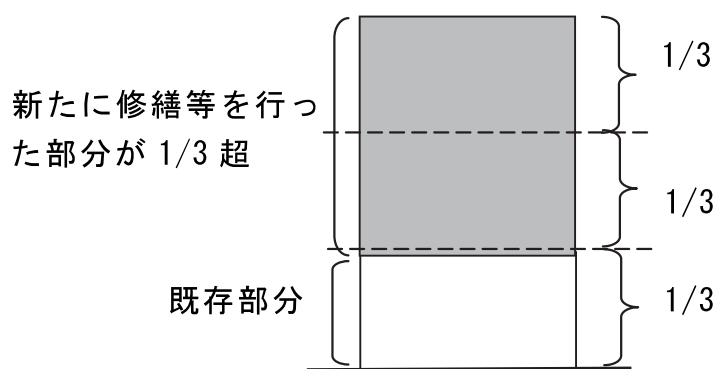
(2) 建築物の外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更(以下「修繕等」という。)の届出について



ア 立面の面積に関して(一般課題対応区域:届出が必要な修繕等 高さ15m超又は建築面積1,000㎡超の建築物で、修繕等の面積が各立面の面積の3分の1超)

(7) 届出が必要なケース

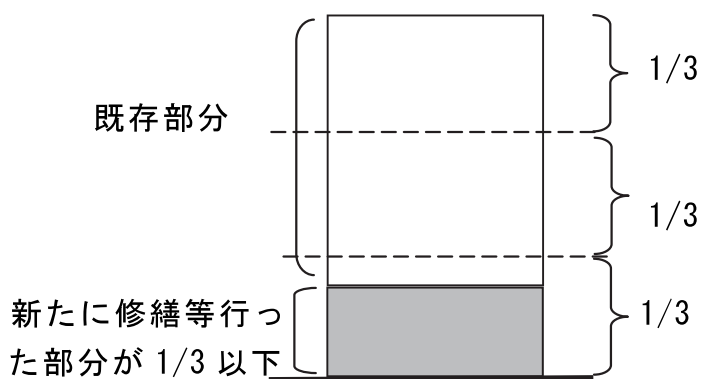
〈ケース1〉



〔 高さが15m超又は建築面積が1,000㎡超の建築物の修繕等で、新たに修繕等を行った部分が、各立面の面積の3分の1を超える場合 〕

(4) 届出が不要なケース

〈ケース1〉



〔 高さが15m超又は建築面積が1,000㎡超の建築物の修繕等で、新たに修繕等を行った部分が、各立面の面積の3分の1以下の場合 〕

2 工作物の届出について(新設以外のケース)

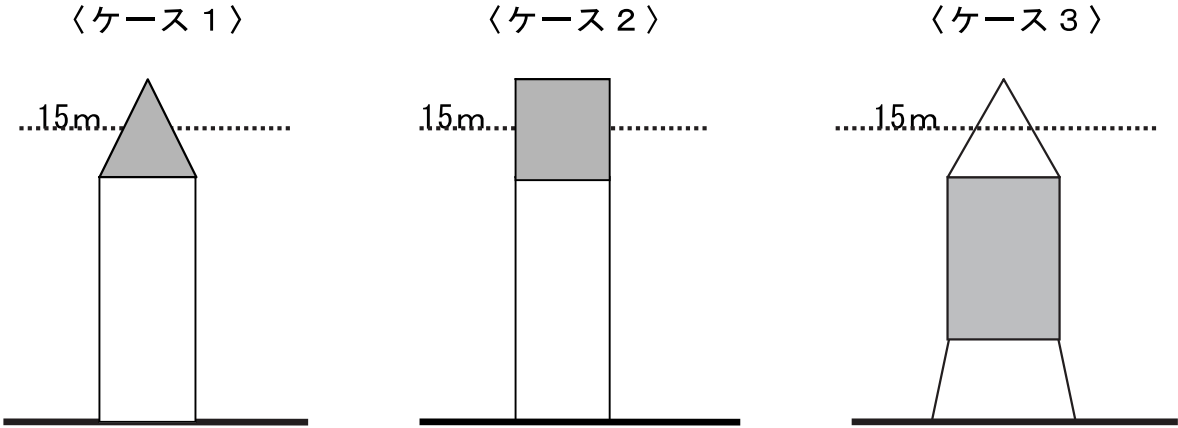
(1) 工作物の増築等の届出について

注： 建築基準法上の「工作物」が届出対象です。

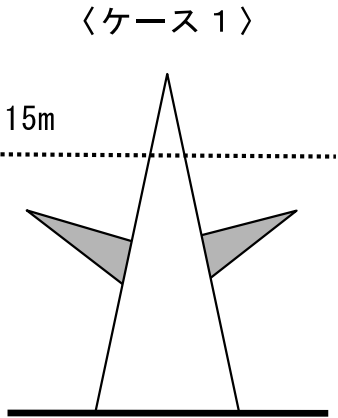
〔 凡例
□ : 既存工作物部分 ■ : 増築部分 〕

ア 高さに関して (一般課題対応区域 : 届出が必要な高さ 15m超)

(ア) 届出が必要なケース

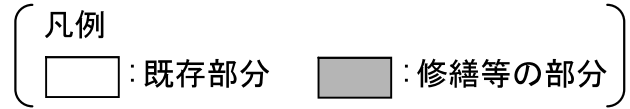


(イ) 届出が不要なケース



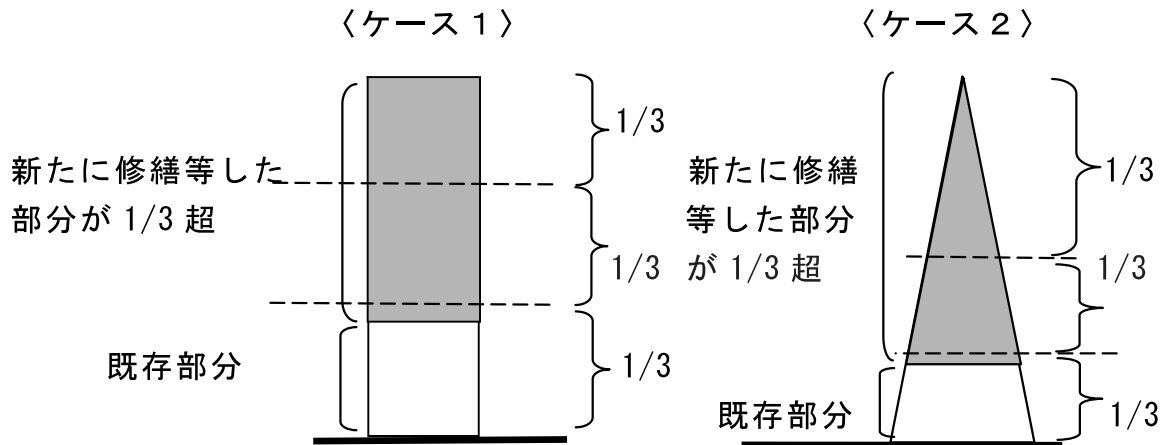
〔 腕金 (うでがね) 部、補強材、梯子
その他付属部品の取付又は交換 〕

(2) 工作物の修繕等の届出について



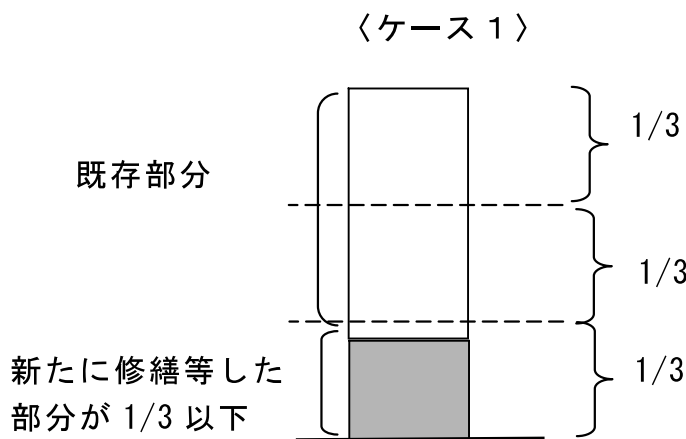
ア 立面の面積に関して（一般課題対応区域：届出が必要な修繕等 高さ 15m 超の工作物で、修繕等の面積が各立面の面積の 3 分の 1 超）

(7) 届出が必要なケース



（ 高さが 15m 超の工作物の修繕等で、新たに修繕した部分が、各立面の面積の 3 分の 1 を超える場合 ）

(4) 届出が不要なケース



（ 高さが 15m 超の工作物の修繕等で、新たに修繕した部分が、各立面の面積の 3 分の 1 以下の場合 ）